

# 災害対策推進・教育センター

## ■ スタッフ

センター長	岸和田 昌之 (肝胆膵・移植外科)	
副センター長	寺村 文恵 (看護部)	
医師 兼任		1名
看護師 兼任		1名
	非常勤	3名
臨床工学技士 兼任		1名
災害対策コーディネーター		1名
事務職員 非常勤		1名

## ■ 災害対策推進・教育センターの特色

災害対策推進・教育センターは、院内の災害対策の推進、防災体制の整備、実災害で活躍できる人材の養成、災害医療教育の普及啓発を図ることを目的として、令和3年4月1日に新たに設置されました。

院内の救命救急・総合集中治療センター、災害医療センター、防災関連会議や部会（防災会議、防災ワーキング・グループ、院外医療支援部会、災害リンクナースなど）の教職員、県内外の医療機関、三重大学本学、三重県や津市との行政や地域の皆さんと連携を取り、病院の災害対策を推進しています。

災害時医療への教育や普及啓蒙活動を、教職員のみなならず学生や一般市民の方へも行っています。

## 1. 業務内容

### 1) 災害対策の推進

- (1) 災害時の事業継続計画（BCP）の策定や整備
- (2) 防災訓練の計画・実施：多数傷病者受入訓練、災害対策本部設立訓練、第2救護所訓練、さつき園・さくら組津波避難訓練、手術部地震訓練、小児周産期の災害時対応訓練など
- (3) 院内防災関連マニュアルの作成・見直し
- (4) 防災体制の整備：安否確認システム（ANPIC）、災害時の備蓄やインフラの整備
- (5) 防火訓練の計画・実施：通報、初期消火、避難誘導（消防法：2回/年以上）複数病棟火災訓練、手術部火災訓練、消火器使用訓練など
- (6) 防火体制の整備：自衛消防組織の体制確立

### 2) 災害時医療への教育および普及啓発活動

- (1) 職員研修：新人研修、EMIS入力訓練、デジタル簡易無線操作訓練、第三陸特無線技士講習受講、ドローン操縦者技能維持講習など

- (2) 防火の職員研修：自衛消防業務講習促進など
- (3) 災害医療教育：教職員・医学生への防火・防災訓練、黒潮医療人材養成プロジェクト（文科省）
- (4) 災害医療教育の普及啓発：HP、講演、高大連携授業、県民公開講座、動画（三重大学医学部附属病院公式YouTube）、かわら版（院内広報誌）、Online MEWS（三重大学医学部附属病院公式のブログ）での「シリーズ記事：医療と防災」など

## ■ 活動実績

### 1. 業務実績

#### 1) 災害対策の推進

- (1) マニュアル整備（策定、改訂）
  - i) 災害対策マニュアル Ver3.1 改訂（2023.7）
  - ii) 災害対策本部マニュアル Ver1.1 改訂（2023.7）
  - iii) 火災対応マニュアル Ver1.0 改訂（随時）
  - iv) 災害時事業継続計画（BCP）の改訂（随時）
  - v) さつき保育園からの津波避難誘導ヘルプマニュアル第2版改訂（2023.7）
  - vi) さくら組災害対策マニュアル第2版改訂（2023.7）



#### (2) 防災訓練の計画・実施

- i) 新人研修会（2023.4.7）
- ii) 災害対策本部情報分析机上訓練（2023.5.18）
- iii) さつき園・さくら組津波避難訓練（2022.6.20）
- iv) EMIS入力訓練（2023.8.9）
- v) 災害対策本部机上訓練（2023.8.22）
- vi) 発災初動時 CSCA 情報分析訓練（2023.9.19）
- vii) 三重大学病院大規模地震時訓練（2023.9.23）
  - ① 災害時報告訓練：病院教職員全員  
安否確認訓練（安否確認、登院調査）、発災時報告入力訓練（病棟など）
  - ② 多数傷病者受入れ訓練：医療スタッフ（医師、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師）、医学科5年生（救命センター実習）、地域自治会
  - ③ 災害対策本部訓練：執行部、診療部、事務部  
被災情報把握、病床管理、情報収集（アンピッ

ク、EMIS)、外部 DMAT や県調整本部と調整

④搬送訓練：医学部医学科 5 年生

担架およびエアストレッチャーの座学・実技、  
浸水体験アプリによる AR 体験

viii) 三重大学第 2 救護所開設・実働訓練 (2023. 11. 28)

ix) 災害テント・除染テント設立訓練 (2024. 2. 9)

x) 災害発生時イメージ訓練 (2024. 3. 19)



(新人研修会)



(さつき園・さくら組津波避難訓練)



(EMIS 入力訓練)



(災害対策本部机上訓練)



(災害テント・除染テント設立訓練)



(災害発生時イメージ訓練)



(3) 防火訓練の計画・実施

i) 火災訓練 (2023. 4. 7)：通報、初期消火

ii) 病棟火災机上訓練 (2023. 10. 17)

ii) 病棟火災訓練 (2023. 11. 21)：3 病棟同時訓練 (5 南、6 北、9 北)



(通報訓練)



(津北消防署員との連携)



(発災初動時 CSCA 情報分析訓練)



(消火器、消火栓からの消火訓練)



(多数傷病者受入れ訓練)



(病棟での消火訓練)



(病棟避難誘導訓練)



(災害対策本部訓練)



(エアストレッチャー搬送訓練)

(4) 防災体制の整備



(食事・飲水備蓄：3 日分)



(浸水アプリ AR 体験)



(第 2 救護所開設・実働訓練)

## 2) 災害時医療への教育および普及啓発活動



(附属小学校防災講義) (三重大学防災アカデミー)



(広報誌かわら版)



(病院ブログ「医療と防災」)

## ■ 今後の展望

災害拠点病院として、災害時にも医療体制を継続し、一人でも多くの傷病者の救護を優先した医療を提供できるよう、災害時 BCP をはじめとする対策や運用、防災教育に尽力してまいります

### 災害対策推進・教育センターHP

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/bumon/saitai-kyouiku/>



## 2. 臨床研究等の実績

- 1) 森川祥彦、岸和田昌之ほか：病院職員を対象に実施した津波被災後の登院可否に関するアンケート調査結果. 日本災害医学会雑誌 29：39-45、2024
- 2) 岸和田昌之、ほか：津波浸水被災が想定される大学病院での病院避難を意識した防災訓練の取り組み (ポスター). 第 29 回日本災害医療学会・学術集会 (京都). 2023 年 3 月.
- 3) 森川祥彦、ほか：“災害時出社シミュレーション”を用いた災害時における現実的な登院可能人数の予測—自宅の建築物災害対策状況や登院経路を考慮して— (ポスター). 第 29 回日本災害医療学会・学術集会 (京都). 2023 年 3 月
- 4) 岸和田昌之：南海トラフ大地震、津波に備えて放射線技師ができること - 受援力を高める (講演). (主催：三重県診療放射線技師会). 2023 年 5 月
- 5) 岸和田昌之：災害医療と応急対応 (講演). 令和 5 年度 三重大学「みえ防災塾」 基礎コース みえ防災コーディネーター育成講座。 2023 年 7 月
- 6) 岸和田昌之：災害医療と応急対応 (講演). 令和 5 年度専門職防災研修 2023 年 8 月
- 7) 寺村文恵：災害と看護 (講演). 令和 5 年度専門職防災研修. 2023 年 8 月
- 8) 岸和田昌之：災害 (さいがい) と応急手当 (おうきゅてあて) について学ぼう～ トリアージ、止血、固定、AR による浸水体験～ (講演) (主催：三重大学附属小学校育友会. 2023 年 10 月
- 9) 岸和田昌之：災害医療 (講演). 三重大学・防災アカデミー 県民公開講座. 2023 年 12 月
- 10) 岸和田昌之：病院避難二次トリアージ訓練 (グループディスカッション). 黒潮医療人材養成プロジェクト 第 2 回合同シンポジウム (三重大学 地域イノベーションホール) 2024 年 3 月